

2018年2月13日

代表 大塚耕平 様
幹事長 増子輝彦 様

全国青年委員会委員長 田辺一城

豪雪に見舞われている北陸・信越地方の支援について

今般、北陸・信越地方が豪雪に見舞われていることを受け、全国青年委員会として今年度の活動方針に従い、被災地支援を実施しました。緊急の対応として、2月11日～12日、田辺が福井市に入り、辻一憲・幹事長（福井県議）や矢部秀樹・県連青年委員長らから現状と課題を聞き取りました。あわせて、福井市中心部の順化小学校（上野澄子校長）において、子どもたちの通学路を確保するための除雪作業（雪かき）をボランティアで行いました。

現在、福井県連として被害状況などを調査しており、早期に意見・要望を取りまとめ、党本部に提出する予定とのことですが、全国青年委員会としても速やかな対応が必要との考えから、現場から聞き取った主な意見・要望を以下に記し、共有させていただきます。北陸・信越地方全体が同様の状況に置かれており、今後、民進党として開会中の通常国会などで、政府に対応を求める際の参考にしていただけると幸いです。なお、地元紙・福井新聞の記事の一部も添付します。

- 今回の豪雪を激甚災害に指定し、必要な財政支援を検討してほしい。
- 住宅街や県道、市道などの生活道路の除雪が進んでいない。このため住民の一般車両はもちろん、救急や消防などの緊急車両、郵便、宅配などの車両が通行できない地域がある。通学に危険が伴うため小中学校で休校が続くこと、入院・通院の患者、透析患者、独居高齢者らの移動が困難になっていることも念頭に置く必要がある。生活道路の除雪について国の支援を検討してほしい。
- 除雪費用は過去最大になることが見込まれる。国として、県や市町村に対する特別交付税の措置など金融・財政面の支援を確実に行ってほしい。
- ビニールハウスの倒壊など農業被害が甚大で金融・財政面の支援が必要。
- 交通が滞留した国道8号線は、北陸地方の重要な道路にもかかわらず、丸岡ー加賀間が片側1車線のみであり複線化を早期に実現することが必要。
- 今回のような大雪の際、JR北陸本線の福井ー敦賀間が他の路線・区間よりも特に脆弱で、運行取り止めとなり、関西方面との往来が不可能になる。国から事業者に対し、対策の強化を求めてほしい。

以上